

DIY用

アサヒペン

ELECTRIC SPRAY GUN
LOW SCATTERING TYPE

電動 スプレーガン

取扱説明書

〔保証書付き〕

ES-023

MADE IN CHINA



この度は、アサヒペン電動スプレーガンをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずよくお読みいただき、正しい使用のもとに末永く
ご愛用下さい。

なお、この取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも見られるところに、保管して下さい。
この取扱説明書の中に表示してあります絵記号は、あなたや他の人々への危害を未然に
防止するための安全上の注意が記載してありますので、必ずお守り下さい。

この取扱説明書は塗料を塗装する場合を中心に説明しています。

※塗料の塗装、水などの噴霧以外の用途には使用しないで下さい。※仕様は予告なく変更する場合があります。

ASAHIPEN CORP.

アサヒペン 電動スプレーガンの 特長・用途

特長

アサヒペン《電動スプレーガン》は、一般家庭用の100Vのコンセントに電源プラグを差し込みトリガーを引くだけで、どなたにも簡単に塗装ができます。もちろん従来のスプレーガンとちがい、コンプレッサーを必要としません。また、ハケ塗りの場合に比べ、きわめて短時間に塗装ができ、ハケむらなどができず、美しく仕上がります。アサヒペン《電動スプレーガン》は、アサヒペンの多種類の家庭用塗料を吹き付けることができます。

用途

アサヒペン《電動スプレーガン》は次のような場合にご使用になると便利です。屋内外の壁・ヘイ・門扉などの塗装、または水の散布に適しています。

正しく安全にご使用いただくために

絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示には、正しく安全に製品をご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。絵表示の意味は次のようになっています。内容をご理解いただいてから本文をお読み下さい。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重症を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視した取扱いをすると、人が死亡したり、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視した取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵表示



感電注意



禁止



必ず実行



火災注意



分解禁止



電源プラグを
コンセントから抜く

目次

- 特長
- 用途
- 正しく安全にご使用いただくために

1. 安全上の注意	1
2. 取扱い上の注意	2
3. 構造と各部の名称、及び機械仕様、付属品	3
4. 塗装の手順	4
5. 上手な塗り方	4
■ 室内カベの塗装	4
■ 外壁、ヘイなどの塗装	4
■ 棚、フェンス、扉などの塗装	4
■ 美しい仕上げにするには	4
6. 使用前の塗料粘度の調整	5
7. 使用前の準備	5
8. 使用方法	6
9. 塗装のポイント	7
10. 洗浄と使用後の手入れ方法	7
11. トラブルの原因と対策	8
12. アフターサービス	8

1. 安全上の注意

ご使用前にすべての説明を読み、よく理解してから正しく安全に使用して下さい。

⚠ 危険	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油・軽油などの揮発性の材料や、薬品などの材料は使用しないで下さい。 ※ 火災、爆発、事故の原因になります。 ● 人体・動物に向けての使用はしないで下さい。 ● 作業中は火気厳禁です。火の近くや喫煙をしながら使用はしないで下さい。 ● 指定された用途以外には使用しないで下さい。 ※ けがや事故のおそれがあります。
⚠ 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗装中に先端キャップの前に手などを出さないで下さい。 <p>電動スプレーガンの圧力はきわめて高いので、けがや事故のおそれがあります。</p> 
  電源プラグをコンセントから抜く 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。 <p>感電のおそれがあります。</p> 
  火災注意 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流100V以外では使用しないで下さい。また、傷んだコードやゆるくなった電源プラグ、コンセントは使用しないで下さい。 <p>火災・感電のおそれがあります。</p> 
⚠ 注意	
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体部を分解しないで下さい。 <p>故障や感電の原因になります。</p> 
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体を水やうすめ液につけないで下さい。 ● また、雨天下では使用しないで下さい。 <p>故障や感電の原因になります。</p> 
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 屋内で使用する場合は必ずよく換気して使用して下さい。 ● また、屋外で使用する場合は風の強い日を選んで下さい。 
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用時にはマスクや手袋を着用して、塗料を吸い込んだり皮膚に触れないようにして下さい。

2. 取扱い上の注意



① 表示の用途以外には使用しないで下さい。



② 美装仕上げが必要なところの塗装には使用しないで下さい。
(自動車、オートバイ、洗濯機・テレビ・オーブントースターやその他の電化製品など)



③ 骨材入り塗料(リシン仕上げ塗料など)、高粘度塗料及び希釈して使用できない塗料(重防食塗料、船底塗料、凹凸塗料など。シーラー等は除く)、二液型塗料(エポキシ系塗料、ウレタン系塗料など)、メタリック塗料は使用できません。



④ 電動スプレーガンは精密機械ですので、落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。



⑤ 使用前に使用する塗料の表示をよくお読み下さい。



⑥ トリガーを引いても塗料が出なかったり、正常な作動音がしない場合は、ただちに作業を中断し、「11.トラブルの原因と対策」を参照し、その原因を究明して下さい。
無理に作動させますと本体内部のモーターを破損させることがあります。



⑦ 強い溶剤が含まれている塗料(例えばラッカーなど)は、長時間(5時間以上)入れたままにしないで下さい。塗料吸上げチューブ、塗料カップなどが変形するおそれがあります。



⑧ 塗料を入れた状態で本体を倒さないで下さい。
塗料がこぼれてしまいます。本体内部に入り故障や感電の原因にもなります。
塗料カップに入れる塗料は1200ml以下にして下さい。



⑨ 被塗物に塗装する前に必ず新聞紙等に試し塗りをし、きれいに塗装できることを確かめて下さい。

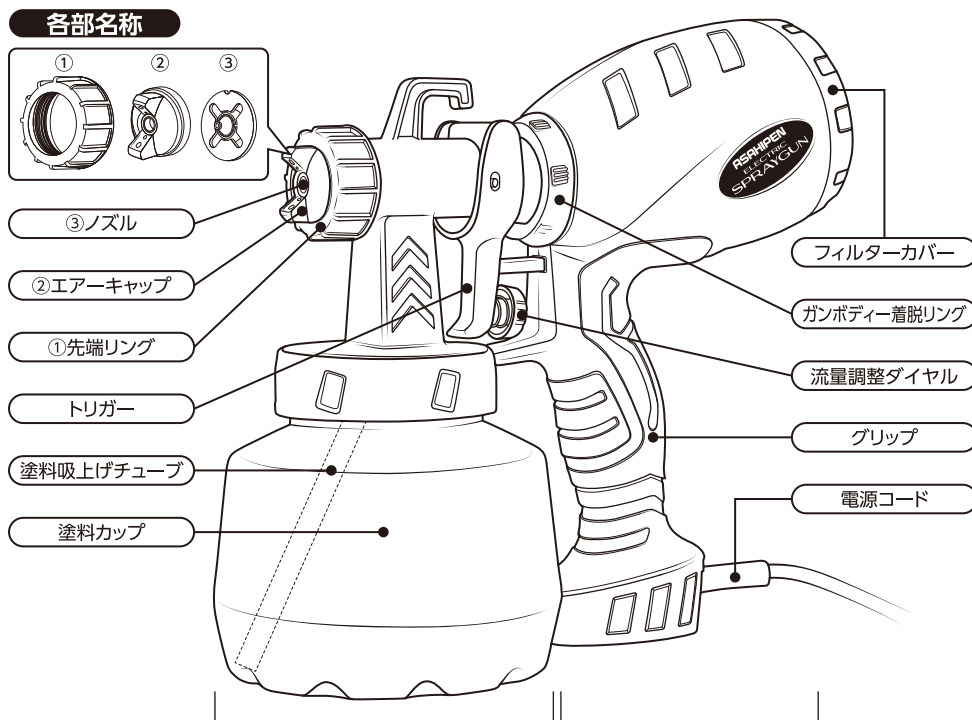


⑩ 使用する液中にゴミなどの異物があると、ノズル口が詰まる場合があります。
使用前に液を茶こしなどでろ過することをおすすめします。使用中に液が出なくなった場合は、ノズル口に詰まりがないか確認して下さい。

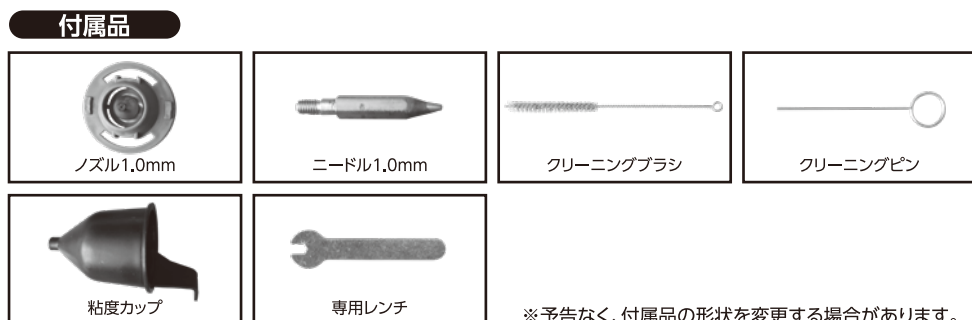


⑪ 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

3. 構造と各部の名称、及び機械仕様、付属品



仕様		ガンボディー	本体
定格電圧 定格周波数	100V 50/60Hz		ノズルサイズ $\phi 1.8\text{mm} / \phi 1.0\text{mm}$
定格消費電力	550W		塗料カップ容量 1200ml
定格時間	30分		電源コード 2.5m
最大吐出量(1.8 ϕ ノズル使用)	680ml/分		本体重量 1,046g
最大吐出量(1.0 ϕ ノズル使用)	250ml/分		本体サイズ W140×D290×H265mm



※ 予告なく、付属品の形状を変更する場合があります。

4. 塗装の手順

基本的な塗装方法の手順は次のようにします。

- ① 塗る場所にあった塗料を選びます。
- ② 服装は汚れても良いようなものに替えておきます。
- ③ 塗装する面の下地調整をします。
 - さびや、はがれかかった古い塗膜は、ワイヤーブラシ、サンドペーパーで落とします。
 - 油汚れはペイントうすめ液で拭き取り、きれいにします。
- ④ マスキングをしっかりします。汚れてはいけないところや塗装しないところはマスキングテープ・新聞紙・ビニールなどでおおっておきます。

注) 噴射された塗料は広範囲に飛散するのでマスキングは充分に行ってください。
- ⑤ 塗料の粘度調整をします。(あらかじめ塗装する面の広さを測り、少し多い目に塗料を用意しておきます。)

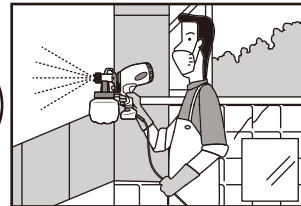
注) 1回塗り塗料でも希釈して使用するので2回以上塗り重ねが必要になる場合があります。
- ⑥ 屋内で塗装する場合は、よく換気しながら塗装します。屋外で塗装する場合は、晴れた日で風のあまり強くない日を選ばず、できるだけ背後から風を受けるようにして塗装します。
- ⑦ あとしまつもしっかりして下さい。(電動スプレーガンは、使用した塗料のうすめ液で洗浄し、残った塗料はしっかりフタをして涼しいところに保管し、できるだけ早く使い切ってください。)

5. 上手な塗り方

■ 室内かべの塗装(窓をあけ室内をよく換気しましょう)



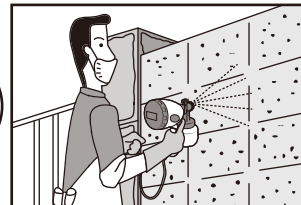
※ 必要に応じて下塗りして下さい。



■ 外壁、ヘイなどの塗装



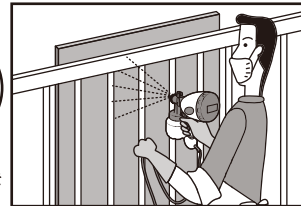
※ 下地の劣化が激しい場合は下塗り塗料を塗布して下さい。



■ 棚、フェンス、門扉などの塗装



電動スプレーガンで直接塗装しますと、塗装面につかずに飛散する塗料が多くなります。このような場合は、反対側に段ボール紙やベニヤ板を10cmぐらいはなしておき、塗料の飛散を防ぎます。又、ななめ方向から吹き付けるのもポイントです。



■ 美しい仕上げにするには(美しく仕上げるには、次のように塗装するのがポイントです。)

- ① 下地調整を念入りに行います。これが、まず大切です。
- ② 塗料粘度を粘度計で粘度表の表示に合わせます。(使用する塗料に合ったうすめ液を使用します。)
- ③ 塗装前に新聞紙や段ボール紙に試し吹きして、細かいきれいな霧になっているか確かめます。
- ④ 1回塗りで仕上げようとせず、うすく2~3回塗りで仕上げます。
- ⑤ 吹き付け距離(エアークャップと塗装面の間)は20~30cm程度離して塗装します。

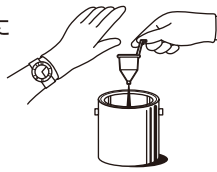
6. 使用前の塗料粘度の調整

塗装する前に塗料の粘度を調整します。

美しく、能率よく塗装するためには付属の粘度計で塗料の粘度を下の表のように調整して下さい。

■ 粘度計の使い方

- ① 塗料をよくかきまぜ、うすめ液を入れ、更にかきまぜます。
- ② 粘度計を塗料の中に入れます。
- ③ 粘度計のカップの中に塗料が完全に満たされていることを確認します。
- ④ 粘度計を引き上げて、粘度計の中の塗料が小穴から落下し、なくなるまでの時間を測ります。



	粘度(秒)	目安の希釈率(%)
水性塗料	50~90	15~30
油性塗料	20~30	20~40
水性ニス	10~20	0~10
油性ニス	10~20	15~30
木材防腐防虫塗料	10	0
水性シーラー	10	0
油性シーラー	10~15	0~10

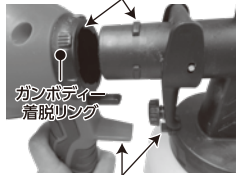
※塗料に適したうすめ液で希釈して下さい。

7. 使用前の準備

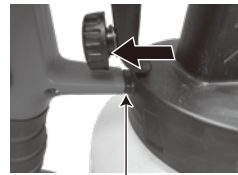
■ 本体へのガンボディーの取付け方

- ① ガンボディー着脱リングを左に目いっぱい回す。
- ② ガンボディー着脱リング内の凹み部分とガンボディーの突起の位置を合わせる。
- ③ グリップ上部の赤い突起部分と塗料カップのフタ部分の黒い突起の位置を合わせる。
- ④ ②、③の位置がちょうど合うところでガンボディーを押し込み、ガンボディー着脱リングを右に回し先端部が動かないことを確認する。

本体凹みとガンボディー凸部を合わせる

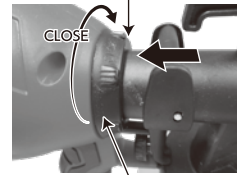


本体と塗料カップのフタの突起の位置を合わせる



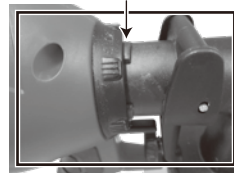
差し込む

ガンボディーの突起が見えなくなるまではめ込む



ガンボディー着脱リングを右に回す

はめ込み不十分



ガンボディーの突起が見える。

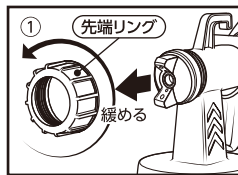
■ 本体からガンボディーの取外し方

ガンボディー脱着リングを目いっぱい左に回し、はめ込みの位置をずらして引き抜いて取外す。

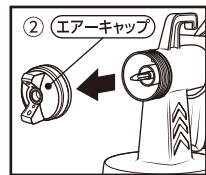


■ ノズル部の取外し・取付け方法

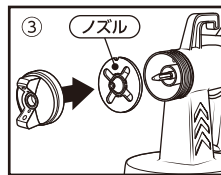
ノズル部の取外し方法



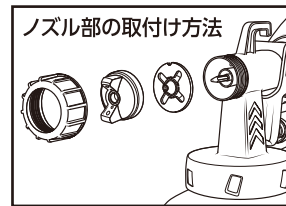
先端リングを外す



エアークャップを外す



ノズルを外す



ノズル、エアークャップ、先端リングの順に取付けて下さい。

■ ノズルの交換

φ1.8mmとφ1.0mmの2種類のノズルが付属しています。(φ1.8mmのノズルはあらかじめ本体に装着されており、広い面積の塗装にはφ1.8mmのノズルを使用します。霧を細かくしたい時はφ1.0mmを使用して下さい。)

φ1.8mmからφ1.0mmのノズルに交換するとき

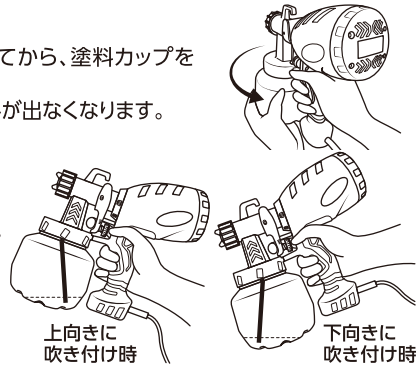
- ① φ1.8mmのノズルを外し、専用レンチでニードルを左に回して取外して下さい。
- ② 1.0mmのニードルを取付け、専用レンチでしっかりと締め付けて下さい。
- ③ φ1.0mmのノズルを取付けます。

■ 塗料吸上げチューブの取付け方法

塗料吸上げチューブが強く差し込まれていることを確認してから、塗料カップを取付けます。
 注) 塗料吸上げチューブの差し込みが弱いと振動でゆるみ、塗料が出なくなります。

塗料吸上げチューブの向きを変えることによって、塗料カップ内の塗料の吸上げ不良を防止できます。

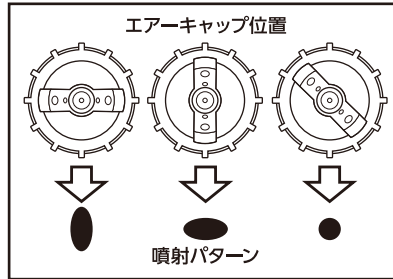
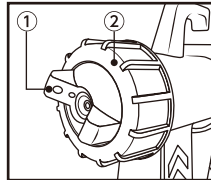
上向きに吹き付ける場合：塗料吸上げチューブの先端を後方向けます。
 下向きに吹き付ける場合：塗料吸上げチューブの先端を前方向けます。



■ 吹き付けパターンの調整方法

噴射はエアークリップの位置を動かすことにより3パターンできます。

②の先端リングを少し緩め、①のエアークリップを任意の位置に調整し、調整後は先端リングを締めて下さい。



■ 流量の調整方法

作業環境や塗料の粘度状態などを考えて、流量を調整して下さい。流量調整ダイヤルを回して流量を調整して下さい。

+方向=時計回り/流量増
 -方向=反時計回り/流量減



8. 使用方法

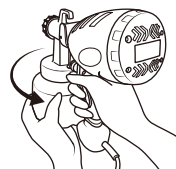
① 塗料カップを矢印の方向に回して取外します。



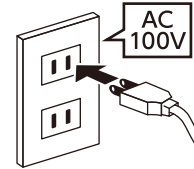
② 塗料カップに調整した塗料を入れます。
 注) 1200ml以上入れないで下さい。



③ 塗料吸上げチューブが強く差し込まれていることを確認し、再び塗料カップを取付けます。

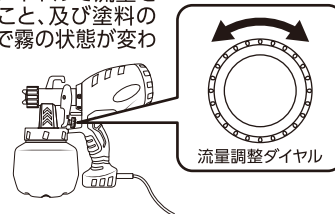


④ 電源プラグを、AC100Vコンセントに接続します。トリガーを瞬間引いてモーターが回転することを確認して下さい。



⑤ 塗装する噴射パターンを調整して下さい。
 注) 調整後は必ず一度試し吹きをして下さい。

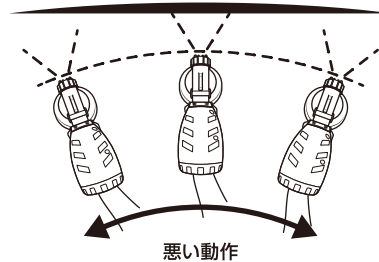
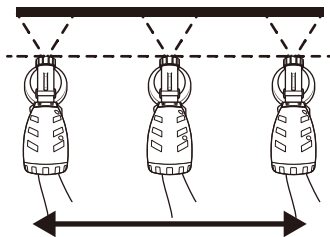
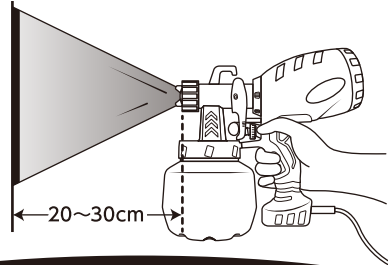
⑥ 塗料の霧の状態を確認して下さい。流量調整ダイヤルで流量を増減すること、及び塗料の希釈割合で霧の状態が変わります。



9. 塗装のポイント

① エアーキャップと塗装対象物との距離は20~30cmが適当です。近すぎると塗面に泡が出たり、塗料がタレたりします。遠すぎると光沢(ツヤ有り塗料の場合)を失います。

② 電動スプレーガンは、塗装対象面に対して垂直に向け、一定の距離を保って動かして下さい。手首だけで動かさないで、腕全体を動かすのがコツです。手首だけ動かして塗ると塗りムラができ易くなります。一定の速さで、平行に吹き付けて下さい。



③ 一度に吹き付けず、うすく数回に分けて吹き付けて下さい。

注) 本機を上下左右に吹き付けると、塗料の塗りムラの原因となりますので、ご注意下さい。

④ 塗装後、直ちに「10. 洗浄と使用後の手入れ方法」に従いお手入れして下さい。

10. 洗浄と使用後の手入れ方法

次回の塗装が正常に行えるように使用後は充分に分解洗浄して下さい。

■ 洗浄方法

使用後は速やかに洗浄して下さい。

そのままにすると塗料が硬化し詰まって使用できなくなります。

水性塗料は水で油性塗料は塗料うすめ液で洗浄します。

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 塗料カップに残っている塗料を別の容器に移し、空にします。
- ③ 塗料カップを洗浄します。
- ④ 塗料吸上げチューブに付いている塗料も洗浄します。
- ⑤ 塗料カップ内に洗浄液(水性塗料の場合は水、油性塗料の場合はペイントうすめ液)を入れて、電源プラグをコンセントに差し込み噴射します。
- ⑥ きれいな洗浄液が出るまで噴射します。
- ⑦ 電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- ⑧ 塗料カップ、塗料吸上げチューブを取外し、洗浄液を拭き取ります。
- ⑨ ガンボディー着脱リングを緩め、ガンボディーを取外します。
- ⑩ エアーキャップ、ノズルを取外し洗浄します。

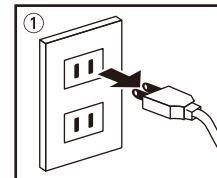
付属品のクリーニングブラシ、クリーニングピンを使用し洗浄して下さい。

注) 金属製ブラシなどは、絶対に使用しないで下さい。変形・破損・故障の原因になります。

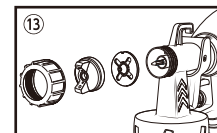
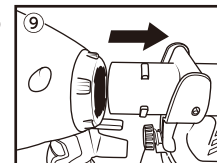
⑪ ウエスや柔らかい布に洗浄液をしみ込ませて、本体の汚れを拭き取って下さい。

⑫ ガンボディーを本体に取付けて下さい。

⑬ 先端リング・エアーキャップ・ノズル・塗料吸上げチューブ・塗料カップを取付けて下さい。



コンセントから抜く



11. トラブルの原因と対策

トラブル	原因	対策
作動しない	電源プラグが正しく接続されていない。	電源プラグを正しく100Vコンセントに接続して下さい。
	電源側のブレーカーが切れている。	電源側ブレーカーを入れて下さい。
	トリガー不良	お買い求めの販売店へ、修理・交換の相談をして下さい。
	モーター不良	お買い求めの販売店へ、修理・交換の相談をして下さい。
塗料が出ない	塗料吸上げチューブが外れている。	塗料吸上げチューブを強く奥まで差し込んで下さい。
	エアキャップが緩んでいる。	エアキャップを強く締め込んで下さい。
	ノズルが詰まっている。	ノズルを洗浄して下さい。
	塗料吸上げチューブが詰まっている。	塗料吸上げチューブを清掃して下さい。
	塗料カップ内の塗料が少ない。	使用塗料を注入して下さい。

上記対策をおこなっても解決しない場合や、上記以外のトラブルが発生した場合は使用しないで下さい。お買い求めの販売店、またはアサヒペンお客様相談室まで連絡して下さい。

12. アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

- アサヒペン<電動スプレーガン>をお買い上げの販売店に保証書ご提示の上、修理をご用命下さい。
- 保証書および保証規定に基づき、無償または有償で修理いたします。
- 1年間の保証外の修理につきましては、有償で修理いたします。お買い上げの販売店にご連絡下さい。
- 有償修理の場合、修理代金に加え送料もお客様のご負担となります。

保証規定

1. 表記保証期間中に、材質、製造上の欠陥により万一故障が生じた場合は、お買い上げいただきました販売店に、この保証書を提示の上、修理をご用命くだされば、無償で修理いたします。
2. 保証期間中でも、下記の場合は無償修理いたしかねますのでご了承願います。
 - イ. DIY用ですので、業務用に使用された場合。
 - ロ. 輸送、移動の際、落下等お取扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合。
 - ハ. 天災、火災、異常電圧等により故障、損傷の場合。
 - ニ. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合。
 - ホ. アサヒペン以外で修理、調整、改造された場合。
 - ヘ. 消耗品の摩耗等による故障及び消耗部品の交換。
 - ト. 保証書の提示がない場合。
 - チ. 保証書の所定事項の未記入あるいは字句を訂正された場合。

お願い

1. 保証書に、販売店名、お買い上げ年月日等所定事項がすべて記入されているかどうかお確かめ下さい。
2. 保証書は再発行いたしかねますので、大切に保管願います。
3. 転居された後の修理については、ご転居先の最寄りのアサヒペン営業所にご相談下さい。

輸入販売元 **株式会社 アサヒペン** 〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 ☎06-6930-5001(代)

アサヒペンお客様相談室 ☎06-6934-0300 ホームページアドレス <https://www.asahipen.jp>

アサヒペン

電動スプレーガン 保証書

型式	ES-023	保証期間	お買い上げ日より1年間
お買	年 月 日		
お客様	ご		
	お名前		
	電話		
販売店	店名・住所・電話		
	印		

※販売店の印がない場合は、購入時のレシートを貼り付けて下さい。

- 正常なご使用状態(取扱説明書ご参照)のもとで万一発生した故障については、上記の通りお買い上げの日より1年間、保証規定に基づき、無償で修理いたします。
- 万一故障の場合は、お買い上げいただきました販売店へ保証書ご提示の上、修理をご用命下さい。

株式会社 **アサヒペン**

〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 TEL 06-6930-5001(代)

アサヒペンお客様相談室 TEL 06-6934-0300